



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社ライドオン・エクスプレス 上場取引所 東
 コード番号 6082 URL <http://www.rideonexpress.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 江見 朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼CFO (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,101	3.2	115	△46.1	114	△43.6	57	△54.0
29年3月期第1四半期	3,973	3.2	214	△0.9	202	△24.8	124	△24.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 60百万円(△49.7%) 29年3月期第1四半期 120百万円(△26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.51	5.36
29年3月期第1四半期	12.11	11.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,556	4,324	65.9
29年3月期	7,159	4,367	61.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,323百万円 29年3月期 4,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,412	2.4	1,002	△9.7	1,008	△8.8	604	△0.1	57.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	10,440,000株	29年3月期	10,438,400株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	64株	29年3月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	10,439,402株	29年3月期1Q	10,319,936株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)における我が国経済は、海外経済の先行きや政策に関する不確実性による影響が懸念されるものの、政府の経済対策や日本銀行の金融政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな景気回復基調で推移しております。

当社グループの属する宅配食市場におきましても、高齢化社会の進展、女性の社会進出、小規模世帯の増加、インターネットの普及等により、今後も堅調に推移すると考えられます。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、中期経営計画「GRIP 2020」(平成30年3月期～平成32年3月期)の達成を目指し、成長戦略・基盤強化策に基づく事業活動に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高4,101百万円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益115百万円(前年同四半期比46.1%減)、経常利益114百万円(前年同四半期比43.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円(前年同四半期比54.0%減)となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

①店舗・拠点

FCを含むチェーン全体の店舗数においては、提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」を3店舗(直営店)出店し、宅配弁当「銀のお弁当」1店舗(直営店)を閉店いたしました。

これにより当第1四半期連結会計期間末における店舗数は725店舗(直営店225店舗、FC店500店舗)、拠点数は371拠点(直営店94拠点、FC店277拠点)となりました(※)。

※当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備(宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等)、及び「ファインダイン」における消費者が選ぶことのできる提携レストランのラインナップ(メニュー)毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

②各ブランドの状況

商品戦略としましては、期間限定商品として、宅配寿司「銀のさら」では、人気の高い「本マグロ 大トロ」を使用した商品を、宅配御膳「釜寅」においては、カニ・ウニ・イクラを豪快に使用した「三宝釜飯」を提供しております。

また、「銀のさら」「釜寅」においては、顧客満足度の向上、新規顧客の獲得・リピート利用の促進等を目的とした7月からのメニュー改定に向けて、一部店舗におけるテストマーケティングを含めた準備を行いました。

宅配寿司の第2ブランドである「すし上等!」においては、5月より手巻き寿司や丼といったバラエティメニューのトライアルを実施しております。「銀のさら」との差別化を図るとともに、様々なお客様のニーズに応えることで、新たな顧客層の開拓を進めてまいります。

販売戦略としましては、繁忙期であるゴールデンウィークのテレビCMとして、マグロのDHAにフォーカスした「結婚編」の放映を実施いたしました。

WEBにおける販売促進においては、4月には、お誕生月にプレゼントが届く「『銀のさら』ハッピーバースデーキャンペーン」を開始、また、人生の瞬間と「銀のさら」の素材の良さを面白く表現した体験型WEBムービー「Slice of Life『第一章 恋人たち編』『第二章 メンカイ編』」の作成、配信を行いました。5月には「銀のさら・すし上等!」SNS写真投稿キャンペーン「すしたグラム」を開始する等、WEB会員、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信等、CRM(※)の確立に向けた活動を行ってまいりました。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配弁当「銀のお弁当」においては、他ブランドの拡大に向けた活動に当社グループのリソースを集中させるため、運営しておりました1店舗を平成29年5月31日の営業をもって閉店いたしました。

提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」においては、「ファインダイン」と他ブランドとの複合化による更なる生産性の向上を目指し、受注対応、調理対応におけるシステム、オペレーションの構築を行っております。提携レストランの開拓においては、営業人員の増加等を行い積極的に活動を行っております。当第1四半期連結会計期間末における提携レストラン数は、533店舗となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

資産は、前連結会計年度末に比べて602百万円減少し、6,556百万円（前連結会計年度末残高7,159百万円）となりました。これは主として、現金及び預金が1,143百万円減少した一方で、投資有価証券が697百万円増加したことによるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末に比べて559百万円減少し、2,232百万円（前連結会計年度末残高2,792百万円）となりました。これは主として、季節的な変動に伴い買掛金が132百万円、未払金が307百万円、法人税等を納付した事により未払法人税等が133百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、4,324百万円（前連結会計年度末残高4,367百万円）となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益57百万円の計上による増加、配当金104百万円の実施により減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、中期経営計画「GRIP 2020」に基づき、提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」の事業拡大に向けた投資等を実施いたしました。なお、平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

また、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,836,557	1,692,612
売掛金	971,532	873,252
有価証券	800,000	800,000
商品	31,160	31,589
原材料及び貯蔵品	182,154	141,292
その他	297,230	279,503
貸倒引当金	△23,432	△23,613
流動資産合計	5,095,203	3,794,636
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	468,906	456,737
その他(純額)	164,912	165,093
有形固定資産合計	633,819	621,830
無形固定資産	292,529	302,455
投資その他の資産		
投資有価証券	283,772	981,471
差入保証金	610,686	612,779
その他	364,531	360,962
貸倒引当金	△120,955	△117,527
投資その他の資産合計	1,138,033	1,837,685
固定資産合計	2,064,382	2,761,972
資産合計	7,159,586	6,556,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	860,500	728,391
1年内返済予定の長期借入金	86,438	56,339
未払金	914,955	607,007
未払法人税等	195,002	61,817
資産除去債務	—	1,578
ポイント引当金	1,667	1,114
株主優待引当金	73,688	58,743
その他	173,250	228,371
流動負債合計	2,305,501	1,743,362
固定負債		
長期借入金	5,475	3,420
資産除去債務	137,688	140,657
その他	343,814	345,158
固定負債合計	486,977	489,236
負債合計	2,792,479	2,232,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	964,461	964,795
資本剰余金	868,104	868,416
利益剰余金	2,536,732	2,489,865
自己株式	△103	△103
株主資本合計	4,369,195	4,322,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,041	48
その他の包括利益累計額合計	△3,041	48
非支配株主持分	952	986
純資産合計	4,367,106	4,324,010
負債純資産合計	7,159,586	6,556,608

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,973,228	4,101,118
売上原価	2,082,434	2,128,637
売上総利益	1,890,793	1,972,480
販売費及び一般管理費	1,676,701	1,857,168
営業利益	214,092	115,312
営業外収益		
受取利息	673	1,080
業務受託料	833	823
その他	638	891
営業外収益合計	2,145	2,795
営業外費用		
支払利息	716	266
投資事業組合運用損	—	1,694
為替差損	5,939	—
固定資産除売却損	677	1,021
加盟店舗買取損	4,232	702
その他	2,113	139
営業外費用合計	13,679	3,823
経常利益	202,557	114,284
特別利益		
受取保険金	924	2,046
特別利益合計	924	2,046
特別損失		
固定資産除売却損	—	5,922
リース解約損	141	841
特別損失合計	141	6,763
税金等調整前四半期純利益	203,340	109,567
法人税等	78,369	52,040
四半期純利益	124,970	57,527
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	124,984	57,517

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	124,970	57,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,383	3,090
その他の包括利益合計	△4,383	3,090
四半期包括利益	120,587	60,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,602	60,605
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、報告セグメントが宅配事業のみであり、当社グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。